

## シンポジウム5

## 旭川医科大学病院における高気圧酸素治療の卒前教育と日常診療

藤田 智

旭川医科大学 救急医学講座

当大学においては、高気圧酸素治療部は集中治療部に付属しており、集中治療部及び、救命救急センターは救急科が管理している。

HBOの対象患者は年間200-300人でそのうち約45%が緊急症例である。症例の内訳は表1に示す。

高気圧酸素治療 (HBO) 施行症例は救急科をはじめとして複数科にまたがるが、それぞれの科で学生のためのシラバスにおいてHBOに関して触れている科はなく、授業でHBOに触れているのは、臨床科では救急科および歯科口腔外科だけであった。公衆衛生学においては、環境医学の中で、減圧症に触れるとともに、HBOについても解説していた。

初期研修医に対しては、救急科を回るときに症例があれば、傷病者とともにHBOを経験する機会もあるが、すべての研修医が体験できるわけではないというのが現状である。

救急科の授業は約50コマあるが、教えるべきことが多いために現時点ではこれ以上何かを削ってHBOに関しての授業数を増やすことは難しいと考える。

また、過去10年間の医師国家試験においてもHBOもしくはHBOを行う疾患に関して6問しか出題されていないこと、医学教育のモデルコアカリキュラムにおいてもHBOに触られていないことなどが学生にHBOに対して興味を持つことを阻害していると考えられる。

今後HBOに関する卒前教育を増やしていくためには、47都道府県にある大学のうち80%以上(各大学のホームページから)には高気圧酸素部等が設置されていることから全国大学病院高気圧酸素治療部(室)連絡会等を設置して全国で協力してどのような教育を進めていくかを検討していく必要があると思われる。

表1 HBO 施行症例

救急症例	非救急症例
急性一酸化炭素中毒	難治性潰瘍
突発性難聴	慢性難治性脊髄炎
網膜動脈閉塞症	放射線潰瘍
イレウス	慢性の血行障害
減圧症	悪性腫瘍
急性末梢血管障害	
脳梗塞	
ガス壊疽	
重症脊髄障害	